

委員会	上山田小学校区	議会答弁
総務文教常任委員会	総合窓口設置について発表前に地元の説明をするという小川市長との約束だったが、果たされなかった。	市長部局に迅速に伝え、説明を求めて参ります。
	上山田への総合窓口について議員個人の意見を聞きたい。	議員個人の意見を言う場ではないことをご理解いただきたい。
	新庁舎ができれば旧庁舎が廃止は聞いていない。議会も住民が納得するように総合窓口にしてほしい。	担当課へ住民の声を伝える。行政が対応すべきもので、旧庁舎の廃止・再利用等、再編計画について住民への再度説明責任の必要性を質していきます。  <b>その後の対応：議会として新庁舎建設に当たり、特別委員会で審議した。行政も旧庁舎廃止の説明会を開催し、条例改正を行った。全会一致で旧庁舎の機能は廃止しました。現在、旧上山田庁舎は埋蔵文化センターとして用途変更したが、小川市長の公約で一階に市民窓口を令和3年度から設置しています。旧戸倉庁舎は、ふれあい福祉センターとして機能している。丁寧な情報発信は必要と考え、今後も市民への伝え方を工夫することを求めていきます。</b>
	議会も上山田の市民の意見を聞いてもらいたい。	議会はこれまでやってこなかった、地域の声を聴くために「市民と語る会」を初めて開催しました。ご意見は各委員会で検討し、さらに市長に届けていく。結果は議会報等で報告していきます。  <b>その後の対応→議会HPに結果を掲載し、随時更新して参ります。</b>
	公民館の使用料について更埴圏、戸倉圏、上山田圏で格差はないか、平等なのか。	委員会では、HPの閲覧の宣伝、使用料一覧表の作成を担当課に要請し、迅速な対応を求める。課題はないか調査していく。地域の公民館は、地区の規定で決まっています。  <b>その後の対応：使用頻度など考慮し、減免の対応は行っています。利用施設にお問い合わせください。</b>
	上山田庁舎を災害時の拠点に。	委員会対応：上山田の緊急避難所に指定されています。
	今ある施設の有効活用を。	担当課へ住民の声を伝えます。  <b>その後の対応：議会として公共施設統廃合計画を元に、個別施設について審査し行政とともに進めていきます。</b>
	「区」と「自治会」の統一を。	担当課へ住民の声を伝えます。市民への説明を要請していきます。
福祉環境常任委員会	野良猫問題について、市と協働で取り組んでいるが、議会も地域猫活動へのご協力をご理解を。	協力していきます。  <b>その後の対応：令和3年度から補助金が500円ずつアップされました。</b>
	書面：転倒予防教室は市が運営を。健康寿命延伸に取り組む事業所に支援を。高齢者福祉をもっと充実すべきではないか。	担当課へ住民の声を伝えます。 委員会対応：計画に反映するよう協議・審査をおこなって、行政に要請します。
建設経済常任委員会	屋代の大規模開発は、数字で効果など検証されているか。お金の使い方は市民への情報公開が不十分。	行政に市民にわかりやすい説明を更に行なうよう要請します。  <b>その後の対応：「屋代地区開発のいま」や「市民の声を聞く会」などで市民への丁寧な情報開示を行なっています。</b>
	戸倉駅や姨捨スマートICの整備優先。	個々の課題について委員会として協議します。行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求めていきます。  <b>その後の対応：戸倉駅のエレベーター早期設置を図ります。</b>
	戸倉上山田温泉の将来ビジョンは。	個々の課題について委員会として協議。行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求める。  <b>その後の対応：今年度見直される「観光振興計画」の策定において、市民や観光関係者の声を活かし、戸倉上山田温泉の将来ビジョンをお示しします。</b>
	日本遺産のビジョンの明示を。	個々の課題について委員会として協議。行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求める。  <b>その後の対応：日本遺産のブランドを活かし、千曲市の歴史遺産を広く国内外に発信し、地域活性化や姨捨棚田の景観保全を図る。新設した「日本遺産推進室」や「日本遺産推進協議会」において、関係事業の実施を進めていきます。</b>
	「更科のそば」の学校開校を要望。	
	コロナ禍の中、本当に困っているところに支援策を。	委員会で行政に要請します。
	書面：耕作放棄地の対策、市の考えは。	委員会で協議していきます。  <b>その後の対応：ワイン用ぶどう、山菜栽培、アズノ改植、トルコギキョウの花卉振興などの活用を支援すると共に、「食料・農業・農村基本計画」に沿って、多様な立場の方々が農業への理解と関心を一層高める取組みをより一層進めます。</b>